

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 29 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2009～2012

課題番号：21241058

研究課題名（和文） 環インド洋地域における宗教復興・テクノロジー・生命倫理

研究課題名（英文） Religious Revival, Modern Technologies and Bioethics in the Indian Ocean Regions

研究代表者

小杉 泰（KOSUGI YASUSHI）

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：50170254

研究成果の概要（和文）：本研究では、環インド洋地域を構成する南アジア、東南アジア、西アジア／中東について、イスラーム、ヒンドゥー教、仏教が 20 世紀後半から宗教復興を遂げている状況を調査し、社会と宗教がともに現代的なテクノロジーによって変容している実態を解明した。特に先端医療の発展によって、宗教的な生命倫理が再構築されていることが明らかとなった。

研究成果の概要（英文）：In this project, the three major religions of the Indian Ocean Regions, namely, Islam, Hinduism and Buddhism in South, Southeast and West Asia/Middle East, were studied with regard to their religious revival in the late 20th and early 21st centuries, and we found that modern technologies have transformed both society and religion in these areas. The reformulation of faith-based bioethics accompanying the latest medical innovations certainly deserves special attention.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	7,300,000	2,190,000	9,490,000
2010 年度	6,600,000	1,980,000	8,580,000
2011 年度	6,600,000	1,980,000	8,580,000
2012 年度	5,400,000	1,620,000	7,020,000
年度			
総計	25,900,000	7,770,000	33,670,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究

キーワード：地域間比較研究・環インド洋

1. 研究開始当初の背景

インド洋を取り囲む南アジア、西アジア／中東、東南アジアを包摂する地域は、世界経済にとって重要な地域であると同時に、イスラーム、ヒンドゥー教、仏教にとって中心的な地域と考えられている。経済発展と宗教復興の顕在化によって、近代化や発展と固有の文化的価値との関係が重要な研究課題となってきた。

宗教復興では、①伝統的な宗教の持続性、②宗教伝統の再活性化、③新しい革新的な宗教思想の現代的展開、という 3 つの要素が複合的に絡み合うが、それを現代的な宗教理解に役立てる研究は少なかった。そこで総合的地域研究の対象としてこれを取り上げ、政治や社会などとの結びつき、グローバル化の中で共時的に進行する科学・技術の発展との連関、新しい生命倫理観の誕生や宗教の現代化

などについて、理論的な枠組みの構築をめざすとともに、当該地域の実証的な調査・研究をおこなうこととなった。

2. 研究の目的

主たる目的は、環インド洋地域における宗教復興の共時的な実態の把握、それに立脚した新しい宗教理解である。そのために特に、宗教とテクノロジー社会との接合、生命と宗教倫理の結びつきに焦点を当てて考察を進める。これとともに新しい宗教理解を目指して、グローバル時代の宗教復興をあつかう総合的地域研究モデルの確立をめざす。

より具体的には、①科学技術社会、高度情報化・インターネット・バーチャルリアリティーなどと、宗教思想および宗教実践との関係といった今日的な状況、それにとりまう宗教伝統の近代化・現代化への対応、②先端的医学（特に遺伝子操作、臓器移植など）と伝統的宗教倫理との関係、現代的环境への宗教思想および宗教実践の対応、生命・身体・環境などに関わる新しい宗教的な倫理、そのような宗教倫理が社会において果たす役割、などを明らかにすることをめざす。

3. 研究の方法

文理融合をめざす総合的地域研究の手法に基づいて、原典研究や臨地調査の「相互乗り入れ」をおこない、宗教復興を共時的に把握することを通じて、グローバル時代の宗教復興をあつかえるような理論的考察を深める。

特に臨地調査（フィールドワーク）では、南アジア、西アジア／中東、東南アジアの専門家がそれぞれ他の地域に「相互乗り入れ」して実施し、越境による触発と地域比較によって、新たな知見を求める。

4. 研究成果

環インド洋地域を構成する南アジア、東南アジア、西アジア／中東について、臨地調査の「相互乗り入れ」を含めて、総合的地域研究の手法を発展させつつ、多くの知見を得ることができた。イスラーム、ヒンドゥー教、仏教が20世紀後半から宗教復興を遂げている状況を精査・比較する中で、法規定を重視し、宗教的に社会を律しようとする傾向が強いイスラームと、宗教と社会が融和的に変容しているヒンドゥー教、仏教との違いも明らかとなった。いずれの場合でも、政治・経済・社会の諸領域は近代的な政教分離モデルのように分岐せず、その分だけ宗教の社会的な機能が強く働いていることが判明した。これに基づいて、地域研究的な宗教モデルの基礎を置くことに成功したと言えよう。いずれの地域でも、現代的なテクノロジーによって社会も宗教も大きく変容しており、宗教の実

態もそのような技術革新の影響を受け、またそれに対応して新しい内容や実践を持つようになってきている。特に先端医療の発展によって、生命倫理の再構成がどの社会でも重要となっているが、環インド洋地域では宗教思想に基づく生命倫理が再構築され、人びとの指針となっていることが明らかとなった。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計73件）

①小杉 泰、南アジアとイスラーム：知的ネットワークと民衆運動—イスラーム世界論から見た研究の射程と課題、『南アジアとイスラーム：知的ネットワークと民衆運動』、人間文化研究機構、2013、pp.1-17

②田辺明生、トランスカルチュレーションとナショナリズム—ガンディーにおける身体と政体の自己統治（スワラージ）、田中雅一編『コンタクトゾーンの人文学』、晃洋書房、2013、pp.101-127

③仁子寿晴、イブン・スィーナ著『治癒』形而上学訳注（第一巻第三章）、イスラーム地域研究ジャーナル、Vol.5、2013、pp.103-136

④山根 聡、英領インドにおけるウルドゥー語出版とムスリム知識層の台頭、『アジアのムスリムと近代—1930年代出版物から考える—』、2013、pp.3-26

⑤子島 進、ムスリムNGOの理念と活動—パキスタンとトルコの事例から、アジア文化研究所研究年報、47号、2013、pp.116-124

⑥小杉 泰、現代中東・イスラーム世界の生存基盤—石油依存の帰結と属人性原理の復興—、『歴史のなかの熱帯生存圏—温帯パラダイムを超えて—』、京都大学学術出版会、2012、pp.439-470

⑦岡本正明、慣習継承の政治学：スマトラ二州に見る公的継承プロジェクトの限界、『民族大国インドネシア：文化継承のアイデンティティ』、木犀社、2012、pp.221-24

⑧小杉 泰、新時代のイスラーム学構築の必要性—イスラーム復興とグローバル化を背景とする新しい課題群とその射程、イスラーム世界研究、VOL.5(1-2)、査読有、2012、pp.192-208

⑨田辺明生、終章「多様性のなかの平等—生存基盤の思想の深化に向けて」、杉原薫・田辺明生編『熱帯のなかの熱帯生存圏—温帯パラダイムを超えて』、2012、pp.467-515

⑩ERRINGTON, Frederick, Tatsuro FUJIKURA and Deborah GEWERTZ, "Instant Noodles as an Anti-Friction Device: Making the BOP with PPP in PNG", *American Anthropologist*, VOL. 114(1)、査読有、2012、pp.19-31

⑪小杉 泰、ポスト九・一一のイスラーム復興—中道派と草の根の運動、現代思想、VOL. 39(13)、2011、pp. 120-135

⑫Yamane So、Laa Musaaviyast se Janam lene waalii Aawaazen: Unniisviin Sadii ke Aaghaaz men "Urdu Rasm al-Khat" kaa Tahqiiqii Jaa'iza、*Tahqiiq*、VOL. 19-2、査読有、2011、pp. 1-48

⑬山根 聡、対テロ戦争が南アジアにもたらした変容、現代思想、VOL. 39(13)、2011、pp. 178-187

⑭子島 進、パキスタンにおけるムスリムのNGO—ハムダルドの理念と活動、鈴木正崇編『南アジアの文化と社会を読み解く』、2011、pp. 307-330

⑮東長 靖、民間信仰としてのスーフィズム—聖者信仰をめぐる、小林春夫編『イスラームにおける知の構造と変容—思想史・科学史・社会史的視点から』、2011、pp. 285-306

⑯田辺明生、現代インド地域研究—私たちは何をめざすか、現代インド研究、VOL. 1、査読有、2011、pp. 1-18

⑰岡本正明、インドネシアのイスラーム主義政党、福祉正義党の包括政党化戦略、イスラーム世界研究、VOL. 4(1-2)、査読有、2011、pp. 289-313

⑱仁子寿晴、イブン・スィナー『治癒の書』形而上学の構造—最高概念の把握と学問構造—、小林春夫・仁子寿晴編『イスラームにおける知の構造と変容—思想史・科学史・社会史の観点から—』イスラーム地域研究拠点早稲田大学イスラーム地域研究機構、2011、pp. 93-111

⑲KOSUGI Yasushi、The Islamic Umma And Umma-Based Institutions Between The International Society And The Globalized World、*New Horizons In Islamic Area Studies: Islamic Scholarship Across Cultures & Continents*、2010、pp. 305-312

⑳小杉 泰、イスラームの再構築、『イスラームの歴史 2—イスラームの拡大と変容』、2010、pp. 37-67

㉑足立 明、民族紛争、田中雅一・田辺明生編『南アジア社会を学ぶ人のために』、2010、pp. 208-217

㉒東長 靖、スーフィズムの成立と発展、佐藤次高編『イスラームの歴史 1 イスラームの創始と展開』、2010、pp. 62-91

㉓ YAMANE So、Aazaadii kii Inshaa-pardaazii- Jadiid Urdu Nathar ke Imkaanaat (ムハンマド・フサイン・アーザードの散文と現代ウルドゥー散文の可能性: 原文ウルドゥー語)、*Al-Aqriba*、VOL. 9、2010、pp. 178-183

㉔小杉 泰、乾燥オアシス地帯における生存基盤とイスラーム・システムの展開、杉原薫・田辺明生編『地球圏・生命圏・人間圏—

—持続的な生存基盤を求めて—』、2010、pp. 89-124

㉕ NEJIMA Susumu、Diversity of Islamic NGOs: A Preliminary Report、国際地域学研究、VOL. 13、2010、pp. 92-100

㉖小杉 泰、<論争アジア>イスラーム金融の将来、ワセダアジアレビュー、VOL. 6、2009、pp. 16-21

㉗小杉 泰、イスラームのこころ—宗教復興とイスラーム経済、『こころの謎 kokoroの未来』、2009、pp. 362-386

㉘足立 明、人とモノのネットワーク—ブックボックス・法隆寺・共在、加瀬澤雅人・田辺明生編『技術と社会のネットワーク—研究課題と展望—』、査読有、2009、pp. 58-97

[学会発表] (計 59 件)

①KOSUGI Yasushi、Islamic Civilization in a Global Perspective: With Special Reference to Japan's Modernization and Malaysia's Future、4th International Symposium on Islam, Civilization & Science、2013年2月20日、マレーシア国民大学(マレーシア)

②FUJIKURA Tatsuro、Three Aspects of Community among the Tharus of Western Nepal、International Seminar on "Recreating Communities in a Globalized Setting、2012年11月24日、Kyoto University

③OKAMOTO Masaaki、Beyond Populism? New Politics in Jakarta, Indonesia、The 36th Southeast Asia Seminar "Cities and Cultures in Southeast Asia、2012年11月22日、University of San Carlos, Cebuano Studies Center(フィリピン)

④KOSUGI Yasushi、Technology of Social Management and Its Knowledge Basis: An Inquiry into Islamic Civilization、SOASCIS 2nd International Conference: Transmitting Spiritual and Moral Values Across Generations in the 21st Century(招待講演)、2012年11月5日、ダールUSSアラーム大学・イスラーム研究センター(ブルネイ)

⑤KOSUGI Yasushi、What is the significance of "Islamic" in Islamic Economics? The Technology of Social Management and its Re-institution、6th Kyoto-Durham International Workshop in Islamic Economics and Finance、2012年7月17日、ダラム大学(英国)

⑥TONAGA Yasushi、Research Trends on Islamic and Middle Eastern Studies in Japan、Co-conference organized by 3HK(Humanities Korea) Project Centers、"Cultural Geography: Mediterranean, Latin America, Southeast Asia(招待講演)、2012

年5月17日、Busan University for Foreign Studies (韓国)

⑦ YAMANE SO、A Brief History of Urdu Education and Study in Japan, Pakistani Studies in Japan, 2012年2月17日、COMSATS Hall (パキスタン)

⑧ OKAMOTO Masaaki、Real Politik” of an Islamist Party, PKS in the Democratized Indonesia: 98-09、Seminar: Islam and Democracy: Two Expressions of Islam in Contemporary Indonesia (招待講演)、2011年10月20日、Harvard Kennedy School (アメリカ)

⑨ 山根 聡、現代南アジアにおける急進派について、日本南アジア学会第24回全国大会共通論題、2011年10月2日、大阪大学

⑩ TANABE Akio、Indian Politics at the Crossroads: Representation, Participation and Vernacular Democracy, XIth Conference of Indian Congress of Asian & Pacific Studies (ICAPS) in collaboration with Association of Asia Scholars (AAS)、2011年9月5日、Institute of Development Studies, Jaipur (IDSJ) (インド)

⑪ FUJIKURA Tatsuro、Political Mobilizations, Spatiality, and the Production of Locality in Western Nepal、International Conference on Changing Dynamics of Nepali Society and Politics、2011年8月17日、Shanker Hotel, Kathmandu (ネパール)

⑫ TONAGA Yasushi、The Development of Tarekat and Sufism in Islamic World、Multaqā al-Shufi al-Alamy Conference (招待講演)、2011年7月15日、Jakarta (インドネシア)

⑬ 子島 進、信仰に根ざしたNGO活動-イスラーム圏の事例から、日本中東学会第27回年次大会、2011年5月22日、京都大学

⑭ OKAMOTO Masaaki、The “Invention” of Parties and Candidates: The Ad Business and Image Politics in the Democratized Indonesia at Session 565: Votes for Power in Southeast Asia、AAS/ICAS Conference、2011年4月2日、Hawai’i Convention Center (ハワイ)

⑮ FUJIKURA Tatsuro、Community Participation in Forest Management and Utilization of Non-Timber Forest Products: Cases from Nepal、International Workshop on Incentive of Local Community for REDD、2011年3月5日、Kyoto University

⑯ NEJIMA Susumu、Hamdard Foundations in India and Pakistan、IAS Third International Conference、2010年12月18日、Kyoto International Conference Center

⑰ 仁子寿晴、イブン・スィーナー『治癒』形

而上学—最高概念の把握と学問構造、イスラーム地域研究共同利用・共同研究拠点ワークショップ「イブン・スィーナー『治癒の書』を巡る比較思想史」、2010年11月20日、早稲田大学

⑱ TANABE Akio、Vernacular Democracy and Circumfluent Economy in Contemporary India、American Anthropological Association 109th Annual Meeting、2010年11月17日、New Orleans, Louisiana, U.S.

⑲ FUJIKURA Tatsuro、Federalism, Indigenusness, and the Production of Locality in Western Nepal、American Anthropological Association Meeting、2010年11月17日、Sheraton New Orleans

⑳ TONAGA Yasushi、Ambiguity in Context’ according to Islamic Thought: Bridging Theory and Actuality around the Saints in Islam、International Workshop, “Pilgrimage and Sanctuaries: Ambiguity in Context、2010年11月13日、Monte Verità, Ascona, Switzerland

㉑ OKAMOTO Masaaki、Weakening Islamic Parties in the Islamizing Indonesia: A Paradox or Not?、The First Public Forum on Indonesia: Current Political & Economic Trends、2010年6月23日、CSEAS, Kyoto University

㉒ 仁子寿晴、初期イスラーム哲学における二つの形而上学—哲学構築と発出論の論理構成—、東洋史研究大会、2009年11月3日、京都大学

〔図書〕(計24件)

① 東長 靖、名古屋大学出版会、イスラームとスーフィズム—神秘主義・聖者信仰・道徳、2013、312

② FUJIKURA Tatsuro、Martin Chautari、Discourses of Awareness: Development, Social Movements and the Practices of Freedom in Nepal、2013、316

③ 山根 聡 (監修)、人間文化研究機構地域研究推進事業・イスラーム地域研究・現代インド地域研究連携事業、マウドゥーディー著作目録と解題、2013、112

④ 東長 靖、京都大学学術出版会、『持続型生存基盤論ハンドブック』(講座生存基盤論第6巻)、2012、552

⑤ 小杉 泰、京都大学学術出版会、イスラーム 文明と国家の形成、2011、531

⑥ 東長 靖 (監修)、創元社、スーフィー—イスラームの神秘主義者たち(「知の再発見」双書152)、2011、144

⑦ 山根 聡、山川出版社、イスラームを知る 8 四億の少数派、2011、114

⑧ 東長 靖 (編著)、京都大学イスラーム地域研究センター、スーフィズム・タリーカ・

聖者信仰用語集 ローマ字順配列、2011、90+vi

⑨東長 靖 (編著)、京都大学イスラーム地域研究センター、アラビア文字で引く スーフィズム・グロッサリー、2011、88+vii

⑩東長 靖・石坂晋哉 (編)、京都大学東南アジア研究所グローバル COE プログラム、持続型生存基盤論グロッサリー、2011、142+iii

⑪小杉 泰 (編著)、山川出版社、イスラームの歴史 2—イスラームの拡大と変容、2010、279+70

⑫田中雅一・田辺明生 (編)、世界思想社、南アジア社会を学ぶ人のために、2010、309

⑬小杉 泰・長岡慎介 (共著)、山川出版社、イスラーム銀行—金融と国際経済 (イスラームを知る 12)、2010、120+2

⑭田辺明生、東京大学出版会、カーストと平等性—インド社会の歴史人類学、2010、576

⑮小杉 泰、岩波書店、「クルアーン」—語りかけるイスラーム、2009、261+3

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小杉 泰 (KOSUGI YASUSHI)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号 : 50170254

(2) 研究分担者

足立 明 (ADACHI AKIRA)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号 : 90212513

東長 靖 (TONAGA YASUSHI)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号 : 70217462

田辺明生 (TANABE AKIO)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号 : 30262215

藤倉達郎 (FUJIKURA TATSURO)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号 : 80419449

岡本正明 (OKAMOTO MASAOKI)

京都大学・東南アジア研究所・准教授

研究者番号 : 90372549

仁子寿晴 (NIGO TOSHIHARU)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・特任准教授

研究者番号 : 10376519

山根 聡 (YAMANE SO)

大阪大学・大学院言語文化研究科・教授

研究者番号 : 80283836

子島 進 (NEJIMA SUSUMU)

東洋大学・国際地域学部・准教授

研究者番号 : 90335208

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :